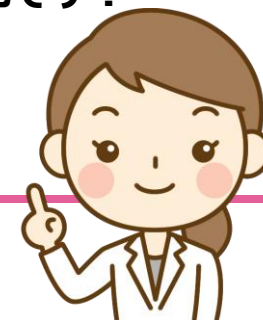


技能実習生の話の聴き方 (JITCOテキストより)

傾聴

技能実習生の話言葉をただ「聞く」のではなく、心をもって「聴く」ことが大切です！

話の内容に心を傾け、その気持ちを受け入れましょう。
話の途中で「なぜ?」「どうして?」と原因を探したり、「・・・した方がいい」と忠告したり、「・・・したら」と指示したりしないで話の内容を理解しながら、**心から聴くようにしましょう。**



受容

話をしている時の技能実習生の気持ちを受け入れましょう！

「日本語がわからなくてつらい」と言われたら、まず「日本語が覚えられなくてつらいんだね」と「つらい」という**本人の気持ちを受け止めてください。**

指導員の皆さんが本人の気持ちを繰り返して言い表すことによって、「**自分が言いたいことをきちんと受け止めてくれた**」と本人が感じて、安心して話すようになります。

共感

何がつらいか、何が困っているか、技能実習生の気持ちを共に感じましょう！

「あなたの気持ちはよくわかりますよ」と**相手の目を見ながら、適切な場面で相づちを打ちながら、**指導員の皆さんの気持ちが伝わるように接しましょう。

明確化

技能実習生は何を訴えたいのかはつきりさせましょう！

自分では気づいていない気持ちを言葉にして伝えることより、たとえば「あなたが言っていることは○○○ということですね」というように、**なぜ本人がそのことを話そうとしているのかという理由や原因、そして問題点を明確に**しながら本人自身が気づくように指導員のみなさんが援助しましょう。

支持

技能実習生の心や感情を、指導員の皆さんが認めているということを、

相手に理解してもらえるように言葉や表現で伝えましょう！

例えば、「あなたの気持ちはわかっていますよ」と言葉や表現で本人に伝えましょう。聴いているときのポイントは、**聞く側があせったり、イライラしたり、相手の言葉をさえぎったりしないように、**ゆっくりした気持ちで話を聴くことが大切です。